

動画で情報伝達

大成ロテック、休日の
地震想定しBCP訓練

大成ロテックは14日、休日の午前6時に都心南部で地震が発生したとの想定で、全国の拠点でBCP（事業継続計画）訓練を実施した。写真。グループ会社社員を含め1668人が参加した。今年は新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、代替の災害対策拠点を立ち上げた上で対策部員を分散させて指揮をとる訓練、テレビ会議システムの

設備がない拠点との動画による情報伝達訓練などを新たに実施した。

同日行われた大成建設の



BCP訓練とも連携した。テレビ会議を使った緊急連絡体制の確保、情報収集訓練、大成建設からの支援要請に対する対応訓練などで災害時の連絡体制などを確認した。

訓練後に講評した西田義則社長は「南海トラフ地震や集中豪雨などの自然災害は近い将来必ず発生する。災害が起こった時、対応できるよう日頃の訓練が一番大事だ。今日の訓練で気づいたことをそれだけで終わらせず、実行に移してほしい」と訴えた。